



クラシノソコアゲ応援団！ RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.47 2017.5.23 発行責任者 連合北海道組織労働局

STOP!長時間労働、実効ある働き方改革実現

苫小牧集会と各地域で街宣行動を展開（胆振）

5月17日夕刻に渡島地協から引き継いで早速洞爺湖駅前街宣行動を実施。18日は伊達、室蘭、登別、白老での街宣行動を経て午後6時から苫小牧市労働福祉センターで胆振集会被催され、組合員約100名が参集した。集会では、連合北海道の勘川副会長の基調提起、民進党9区山岡代表及び沖田道議から連帯



（苫小牧市で開催された集会）

の挨拶を受けた。翌19日は苫小牧市内4カ所、

厚真、安平、鶴川で街宣行動を行った後、日高地協に引き継いだ。日西胆振地協会長は各地区での街宣において、山場を迎えた共謀罪の廃案もあわせて訴えた。また、19日は9区山岡代表が各地区の街宣に同行し応援の挨拶をいただいた。胆振管内における街頭演説は計16カ所に及んだ。

山岡達丸9区代表が各町で街演（日高）

日高地協は5月20日（土）朝から、様似町大型店前での街頭演説を皮切りに、浦河、新ひだか、新冠、日高、平取町の大型スーパーや道の駅で街宣活動を展開した。キャラバン隊は、司会が飯田美和子浦河町議、隊長が民進党9区の山岡達丸代表というクラシノソコアゲ応援団の構成、山岡代表が各町で政治の面からも働く者の立場に立った働き方改革を応援したいと街頭演説を行った。新ひだか町静内地区の国道沿い



（北海道新聞日高版（2017.5.22））



で開催された地区集会には約50人の組合員らが参加、大口地協会長の挨拶や連合北海道の岡島副事務局長の提起など、組合員ばかりでなく広く町民にも訴えていた。胆振・日高管内の走行距離は900キロを超え、21日には十勝地協に引き継いだ。

5月10日スタートからの走行距離は2,918kmに達している。

今後の日程

5月25日	釧根集会	18時00分	釧路アクアペール
27日	網走集会	13時30分	端野町公民館